

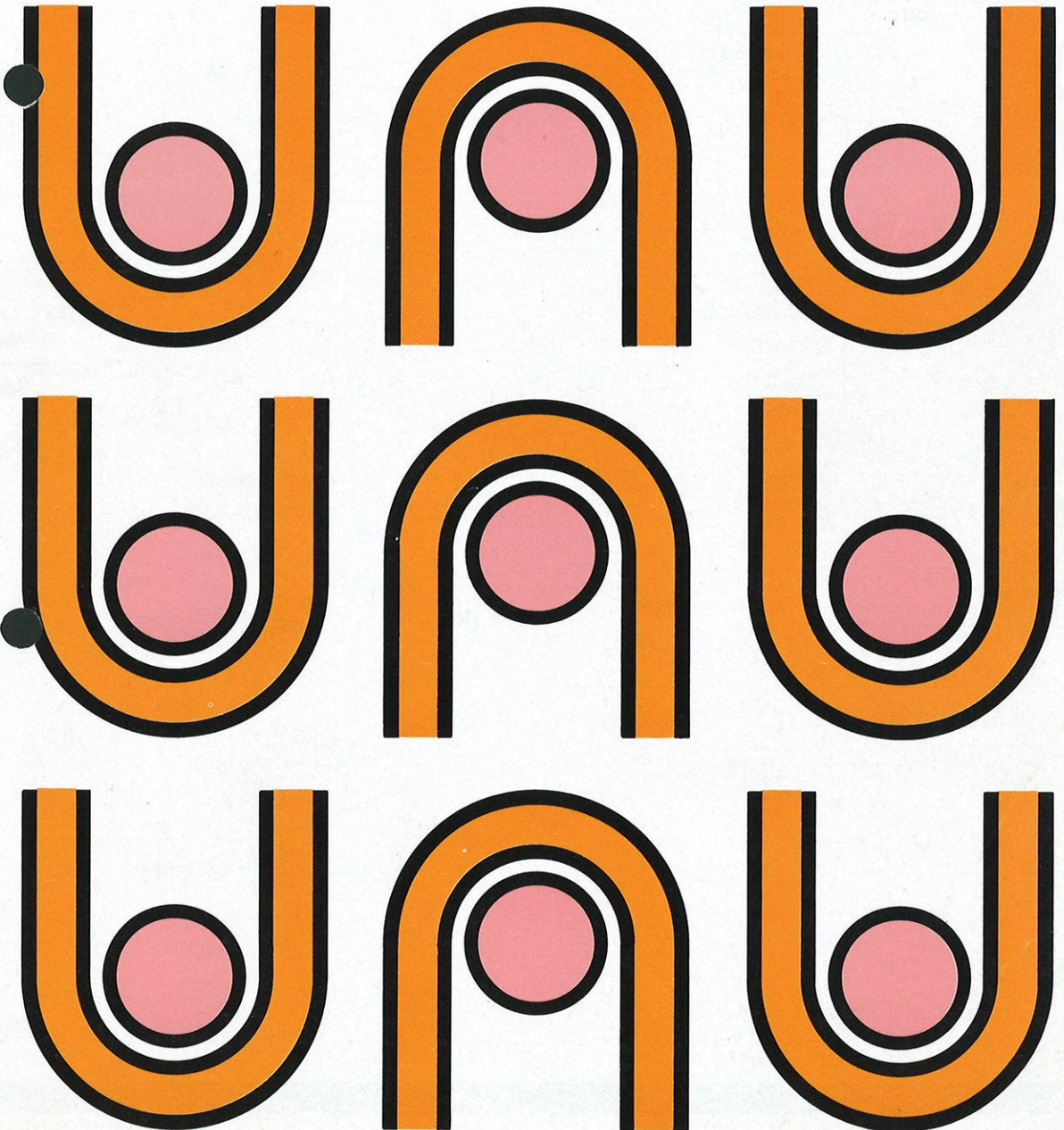
ベビーロック

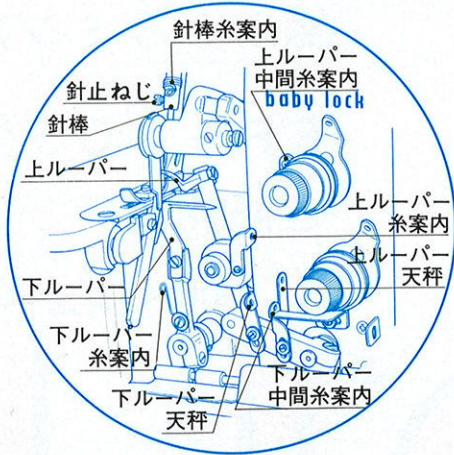
縁かがりミシン

EF-405型

ご使用のてびき

株式会社 ジューキ





ルーバー部詳細図

押え調節ねじ

天秤

天秤糸掛

上中間糸案内

上メス

押え金

針板

下メス

下側面カバー

底板

底板ゴム

メスカバー

メスカバー台

下ルーバー糸調子器

糸立装置

取手形糸案内

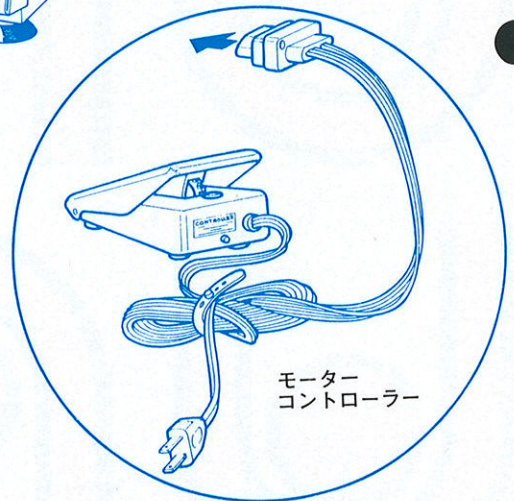
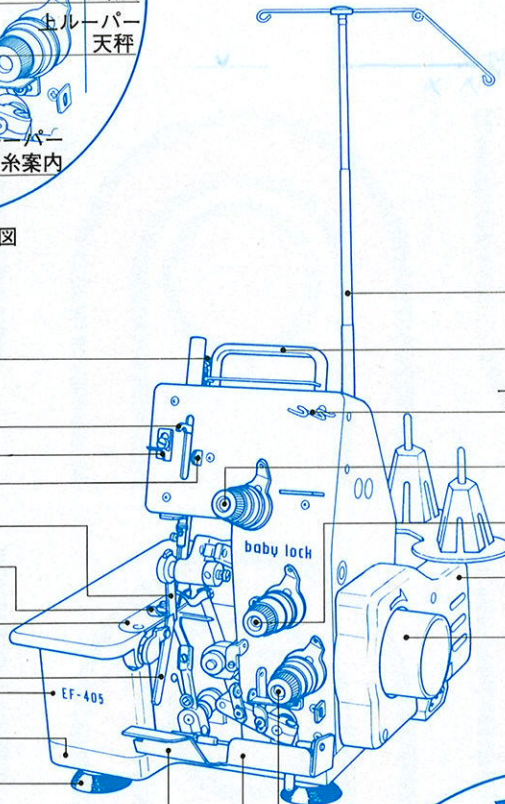
下糸案内バネ(ルーバー糸案内)

針糸調子器

上ルーバー糸調子器

ベルトカバー

はずみ車



※安全のため使用後は電源プラグを抜いてください。
また、コントローラの上に物を載せないでください。

はじめに

このたびは、ベビーロックEF-405型をお買上げいただきまして、ありがとうございます。EF-405型を最も有効に末永くお使いいただくために、この手引きをお役だてください。

目 次

1. 糸のかけ方	1
1-1 糸のかけ方	1
1-2 縫いについて	3
2. 糸調子のとり方	4
3. 押え圧力について	5
4. 針のとりつけ方	5
5. 送り目の調節について	6
6. メスの交換について	7
7. 注油について	8
8. ミシンライトをつける場合	8
9. 点検と調整について	9
10. かがり巾の調節について	10
10-1 針板のはずし方	10
10-2 かがり巾の調節の仕方	11
10-3 針板のとりつけ方	11
11. カーボンブラシの交換について	12
12. 梱包明細	13
13. EF-405型仕様表	14
14. 布地と糸の関連表	15

1 糸のかけ方

1-1 糸のかけ方

① 糸巻きのセット

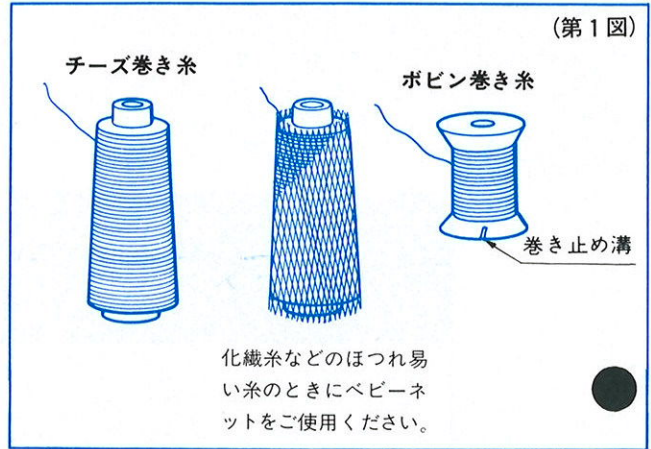
このミシンには普通チーズ巻きの糸を使いますが、ボビン巻き糸もお使いになれます。この場合は、糸の巻き止め溝を下にしてセットしてください。

② ルーパー糸のかけ方

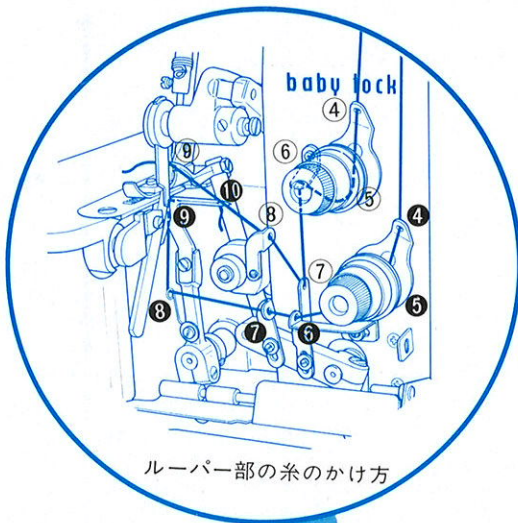
先ず「第4図」のように、メスカバー台を開きます。

次に「第2図」「第3図」のように、2本の糸を順次通してください。糸通しが終わったら、メスカバー台は閉めてください。

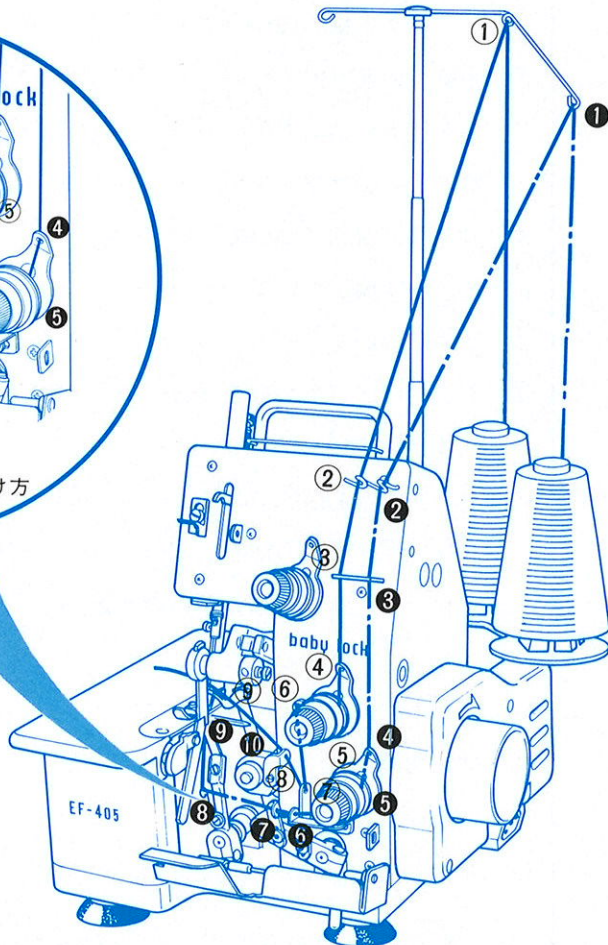
下糸は約10cmひきだしておきます。



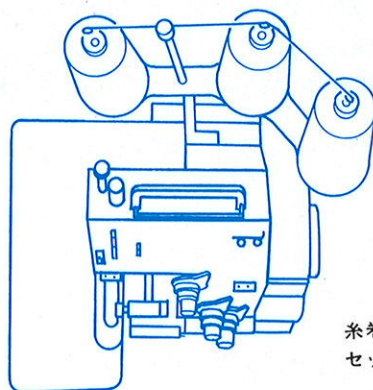
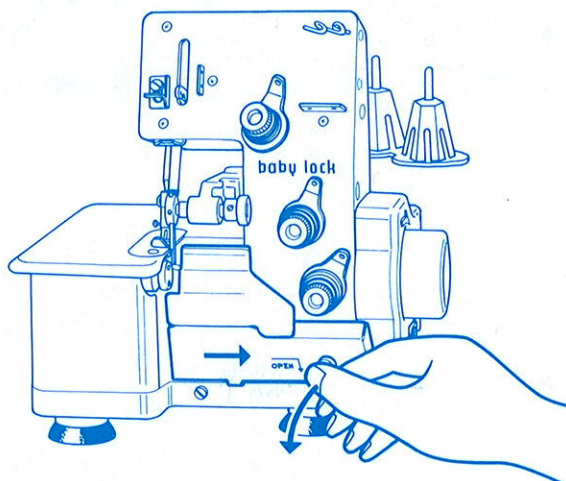
(第2図)



※裁縫中に下ルーパー糸が切れて通し直しをする場合は、針糸を針穴から抜いて行って下さい。



(第4図)



(第5図)

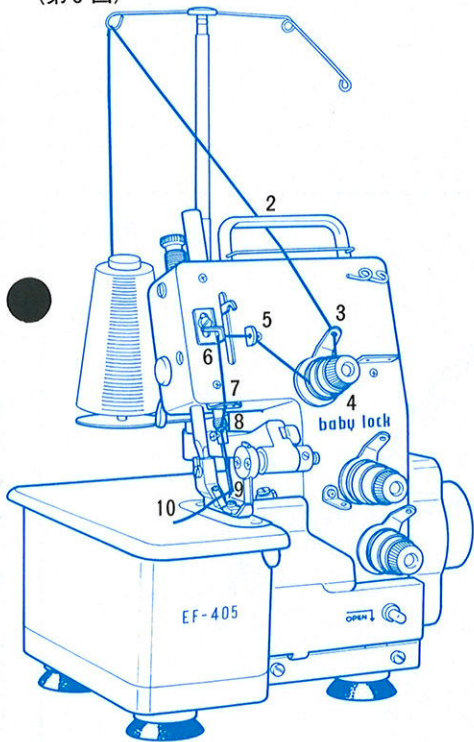
糸巻き
セット位置図

● ツマミを右に引いて手前に倒してください。

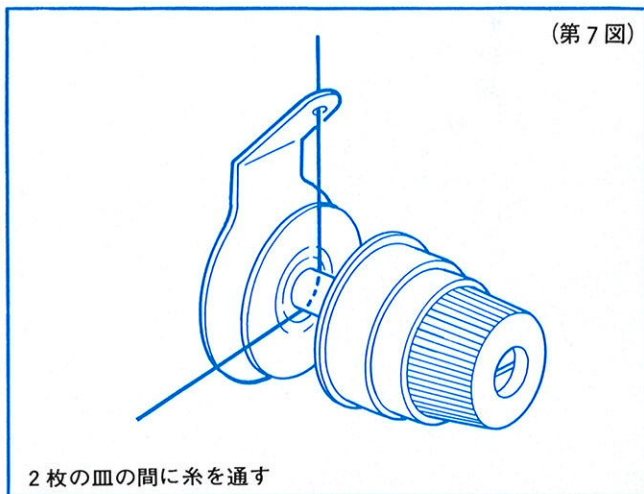
③ 針糸のかけ方

「第6図」のように順次通してください。
針穴には、手前（長溝）側から向こう（えぐり部）側に通して、糸を約10cmひきだしておきます。(第8図も参照のこと)

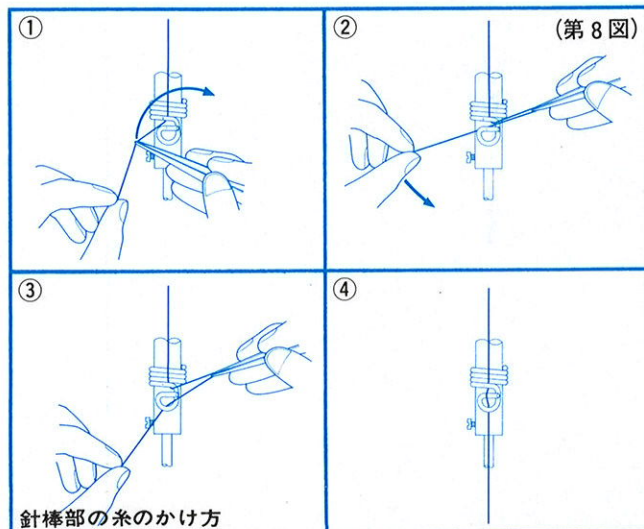
(第6図)



(第7図)



2枚の皿の間に糸を通す



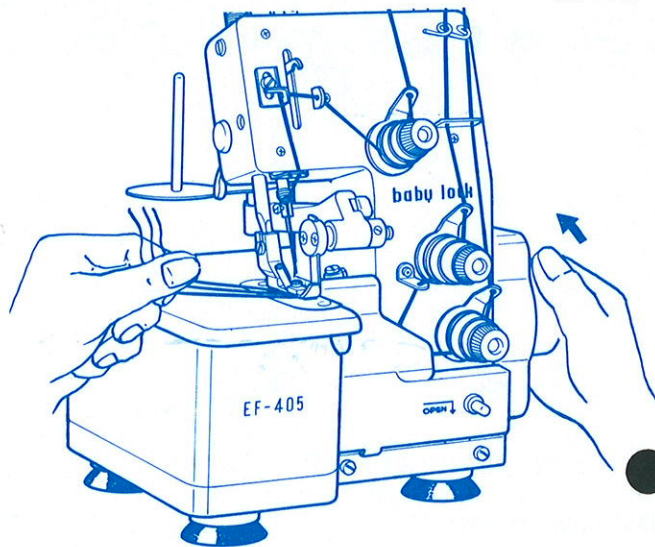
(第8図)

針棒部の糸のかけ方

1-2 縫いについて

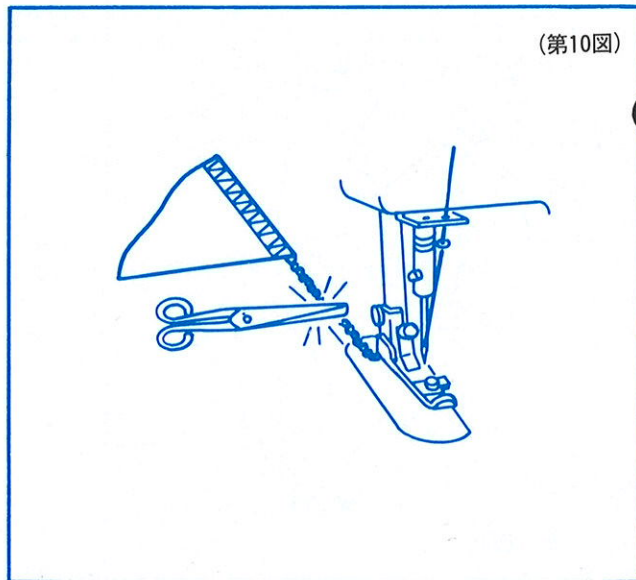
- ①糸かけの終わった3本の糸の先端を「第9図」のように左手指で少し張りぎみにつまみ右手ではずみ車を矢印方向に回して糸のからみぐあいを確認、それから布地をセットして縫いをはじめてください。
- ②3本の糸のバランスが悪くと布地にしわができた、縫い目が不揃いになることがあります。
「糸調子のとり方」の項を参照してください

(第9図)



- ③縫い終わりは、「第10図」のように布地の端から空縫いを2cm～5cm長くとり、切断してください。

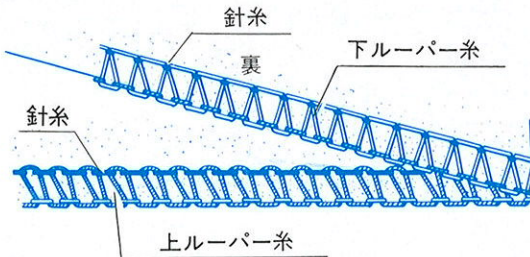
(第10図)



2 糸調子のとり方

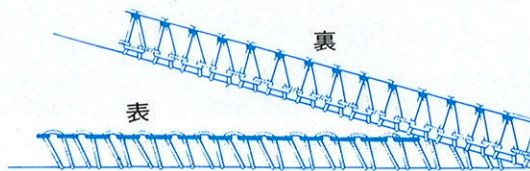
(A)美しいかがり目

(第12図)



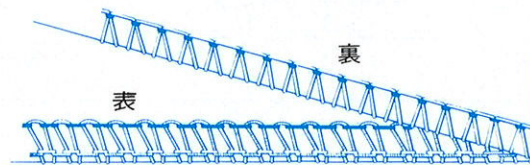
(B)上ルーパー糸が弱い場合

(第13図)



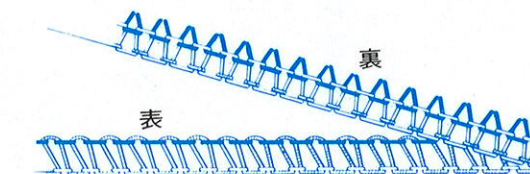
(C)下ルーパー糸が弱い場合

(第14図)



(D)針糸が弱い場合

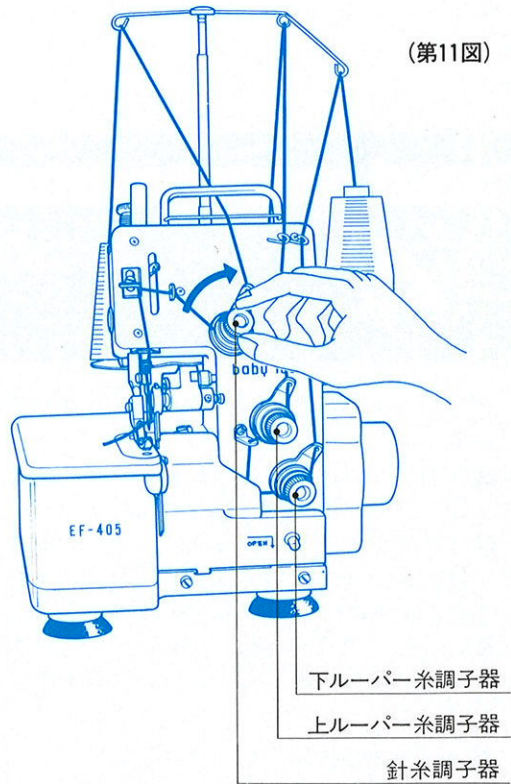
(第15図)



糸調子のとり方は、布地の種類や使用糸の太さ、種類によって違います。そのつど縫い目を見ながら上下の糸調子器で調節してください。

(矢印方向に回すと、糸調子は強くなり反対に回すと弱くなります)

(第11図)



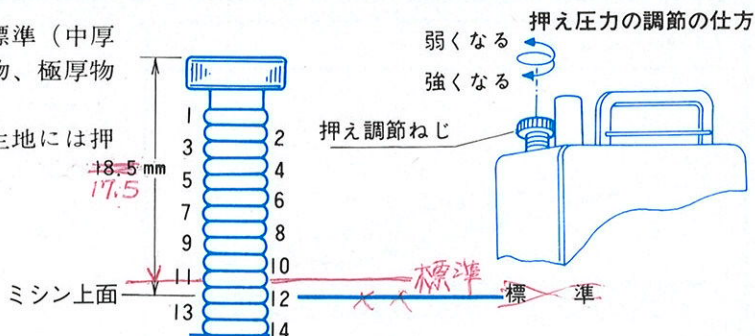
- ① 上ルーパー糸が弱い場合(第13図)は、上ルーパー糸調子器を締めてください。
- ② 下ルーパー糸が弱い場合(第14図)は、下ルーパー糸調子器を締めてください。
- ③ 針糸が弱い場合(第15図)は、針糸調子器を締めてください。

極厚縫いで、針糸が締まらない場合、針棒糸案内の糸を外すと糸締めりが良くなります。

「第12図」の状態になれば完全です。

3 押え圧力について

このミシンは、すでに押え圧力を標準（中厚物用）に調節してあります。極薄物、極厚物の場合のみ調節してください
 薄い生地には押え圧力を弱く厚い生地には押え圧力を強くします。

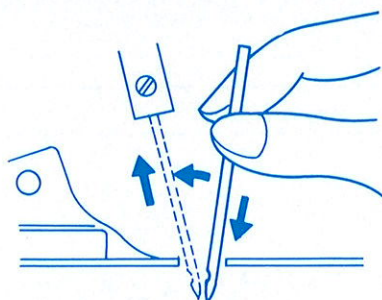


(第16図)

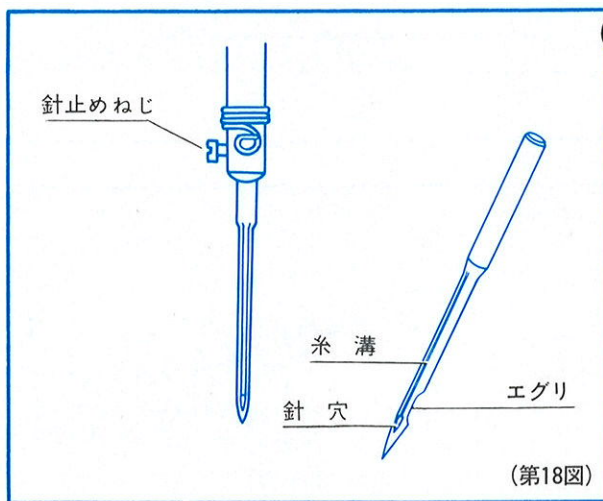
4 針のとりつけ方

このミシンの針はBL×1 #14又は#11を用品います。

- ①針をとりつけるには、最初にはずみ車を回し、針棒をいちばん上まであげます。
- ②次に針止めねじをゆるめて、最初に針先を押え金の針穴に差しこみ、それから針棒の針穴に奥まで差しこんでください。
- ③針のとりつけ向きは、「第18図」のように正面から見て糸溝が手前になるように合わせてください。
- ④針の向きが狂わないように、針を手でしっかり押えて、針止めねじを固く締めつけてください。



(第17図)



(第18図)

5 送り目の調節について

送り目の調節は下側面カバーを開いて行ないます。

- ①右手ではずみ車を押え、左手でハート形の専用ドライバーをにぎり、送り調節固定ねじをゆるめてください。

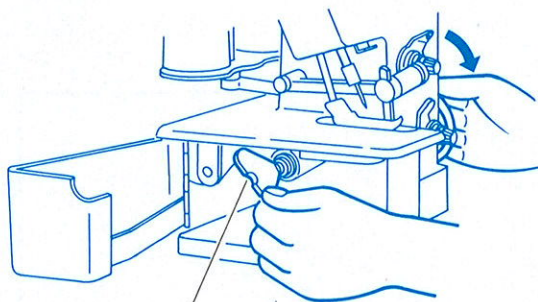
ハート形ドライバーで押えたら、はずみ車を矢印方向に回すと固定ねじはゆるみます。

- ②次に、調節つまみの目盛りを指針に合わせてください。

つまみ目盛りの数字が大きくなるほど、縫い目は大きくなります。

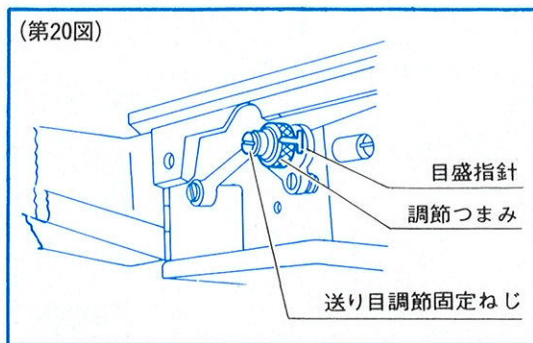
- ③調節が終わったら、送り目調節固定ねじは固く締めつけてください。

(第19図)



ハート形ドライバー

(第20図)

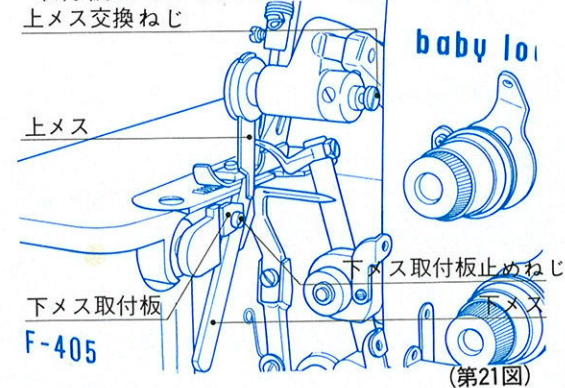


6 メスの交換について

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

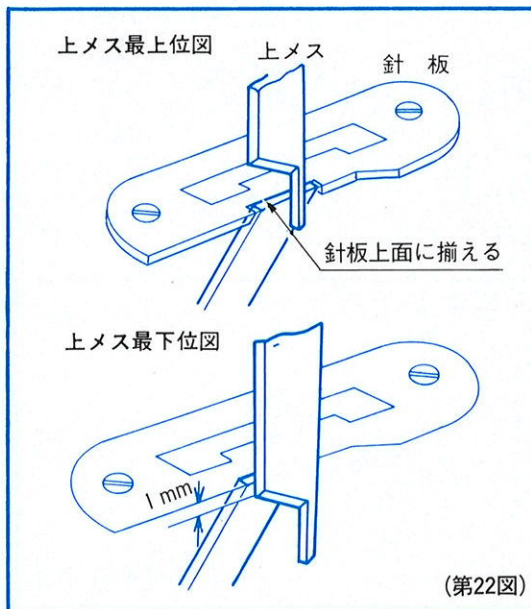
メスは消耗品ですので切れなくなったら交換してください。

- ①上メスは上メス交換ねじ・下メスは下メス取付板止めねじをゆるめて行ないます。



- ②下メスのとりつけ位置は、「第22図」のように針板のメス溝に合わせて固定します。

- ③上メスの正常なとりつけ位置は、上メスが運動していちばん下がった位置のとき、上メス手前刃先が下メス刃先上面に対して1mmほど沈むように位置決めしてください。（第22図参照）



(第22図)

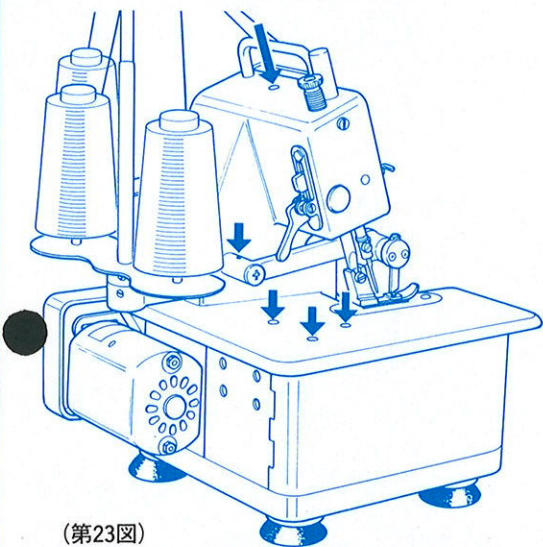
※メスの購入先
ミシン店又は



このマークのお店で
お求めください。

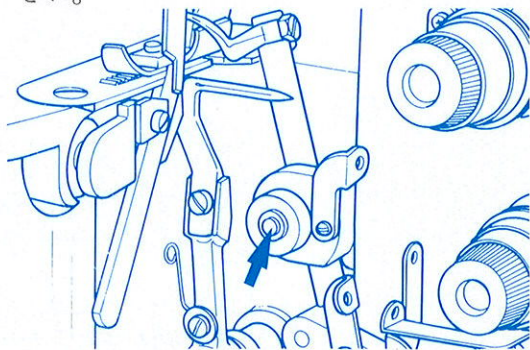
7 注油について

この個所のみ1回当り
5～10滴注油してください



(第23図)

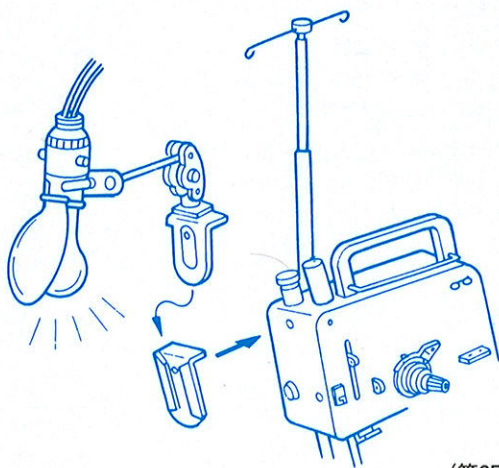
このミシンの大切な個所には、すべて特殊な材料（含油メタル）を用いておりますので、ほとんど注油の必要はありません。ただし、使用頻度の高い場合には、ミシン外観から見て赤印のついている個所に注油してください。1回の注油の量は1～2滴でいどにしてください。



(第24図)

8 ミシンライトをつける場合

ライトをお使いになる場合は、市販されているミシンライトを「第25図」のようにとりつけてください。



(第25図)

9

点検と調整について

このベビーロックは、むずかしい専門的な調整をしないですむように設計されています。つぎのような5つの例は、基本的な調整ができていないときに起りやすい故障ですから、よく覚えておいてください。

A) ミシンが動かないとき

- 電源プラグは差し込んでありますか。
- コントローラーのソケットは差し込んでありますか。

B) 糸が切れるとき

- 糸かけは正しいですか。
- 糸調子が強すぎませんか。
- 針は曲っていませんか。
- 押えの強さは適当ですか。
- 糸の種類はどうですか。
- 針の取りつけ方が、まちがっていませんか。

C) 針が折れるとき

- 針が、針板や押えにぶつかっていませんか。
- 針の取りつけ方が、まちがっていませんか。

D) 目とびするとき

- 針が曲っていたり、針先がすり減ったりしていませんか。
- 針を正しく取りつけましたか。
- 糸のかけ方が、まちがっていませんか。
- 押えが弱いではありませんか。

E) 縫い目の調子が悪いとき

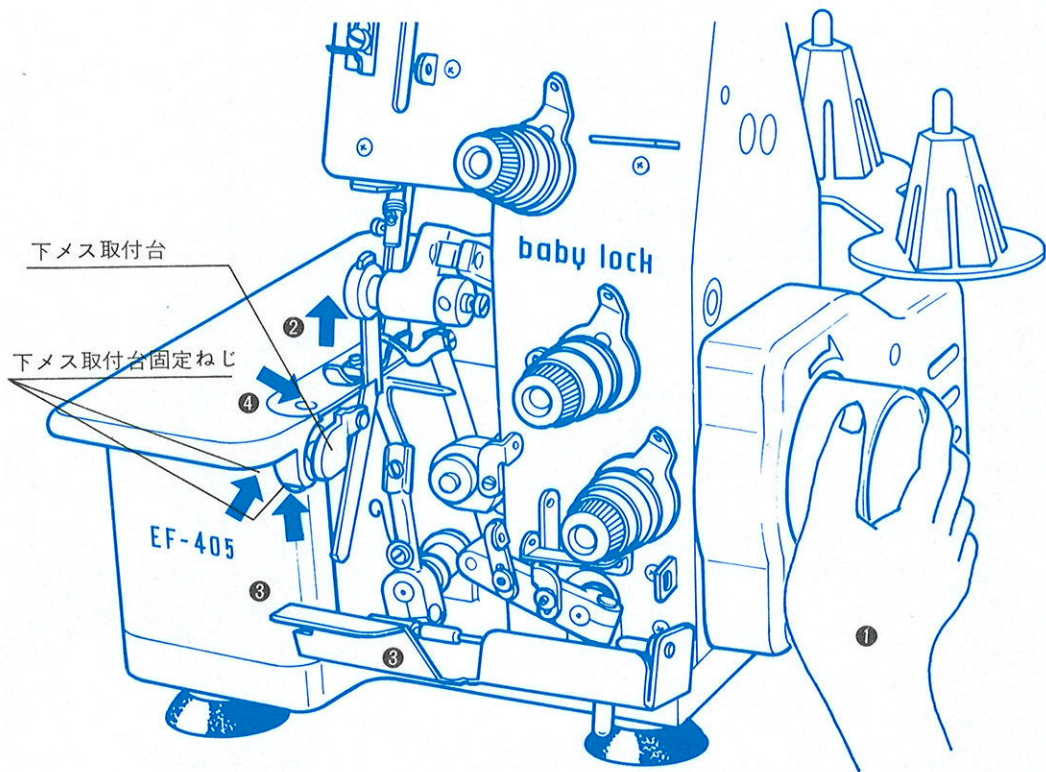
- 針糸、上ルーパー糸、下ルーパー糸の張力調整は、じゅうぶんですか。
- 糸のかけ方は正しいですか。

10 かがり巾の調節について

このミシンは、標準かがり巾 3.5 mm にセットしてありますが必要に応じて 2.5~5mm に変えることができます。
その場合は、次の順序で正しくセットしてください。

10-1 針板のはづし方

- ① はづみ車を回し、針棒を一番上にあげます。
- ② 押え金をあげます。
- ③ メスカバー台、下側面カバーを開きます。
- ④ 針板止めねじをゆるめ、針板をとりはずします。

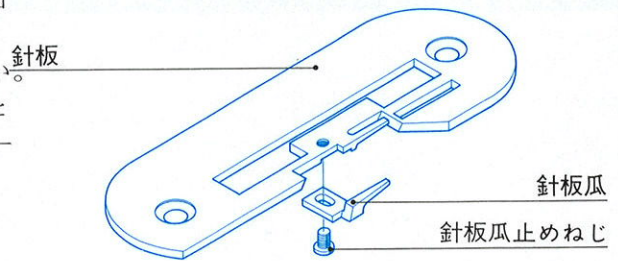


10-2 かがり巾の調節の仕方

針板を裏がえし、針板爪止めねじをゆるめ、図28～31に従って調節してください。

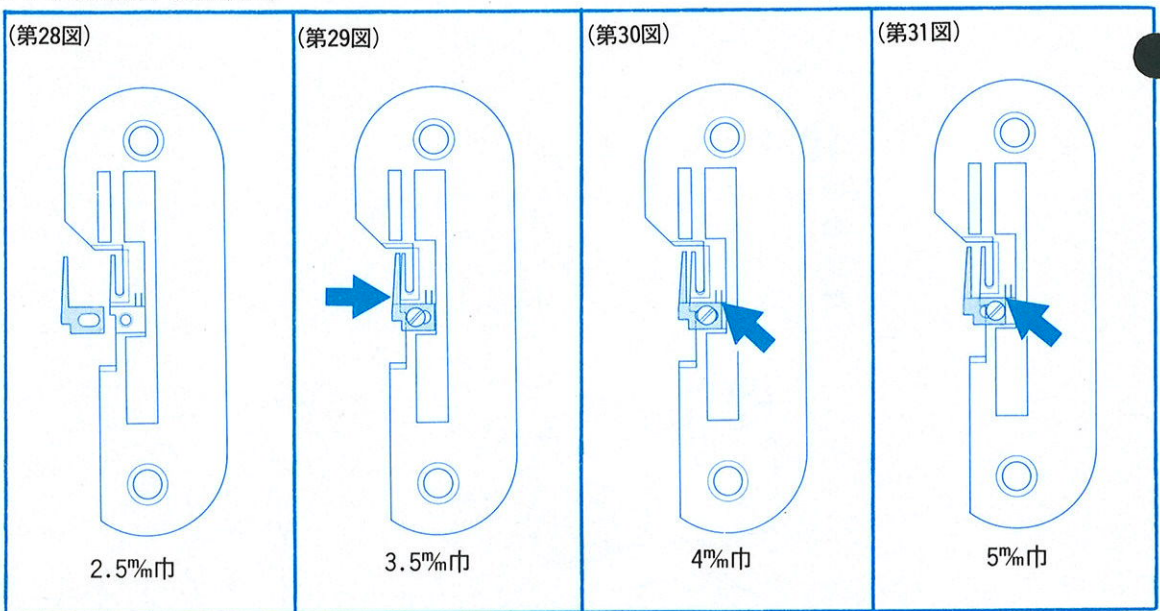
針板爪は取付溝に正しくとりつけてください。

※2.5mm巾に調節した場合、はずした針板爪と止めねじは、なくさないようアクセサリボックスに入れてください。



(第27図)

かがり巾調節図 (針板裏面)



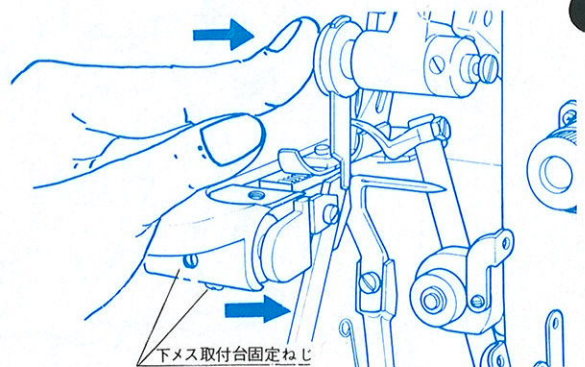
10-3 針板のとりつけ方

- ① 下メス取付台固定ねじ(2本)をゆるめ、下メス取付台を上メスと共に右にいっぱい寄せて止めます。
- ② 針板をとりつけます。
- ③ 下メス取付台固定ねじをふたたびゆるめ、下メス取付台を左に寄せ、針板に密着させて、固定します。
その場合、必ず、下メス上端と針板上面が同一になる様に固定してください。

(第22図参照)

(第32図)

※かがり巾の調節が終わったら、はずみ車を手で回して上ルーパーが他の部品に、あたらないことを確認してください。



1 1 カーボンブラシの交換について

このミシンに使用しておりますモーターにはカーボンブラシが2個（2カ所）取付けてあります。長期間お使い頂くと、摩耗しますので、図のようにカーボンブラシを交換してください。

A) 交換の時期

摩耗によりカーボンブラシ図のようにブラシ部分が3mm程度になりましたら交換してください。

※目やすとして、モーターのうしろの通気孔より見て、カーボンブラシの火花が、1cm程度出るようになったらカーボンブラシを交換してください。

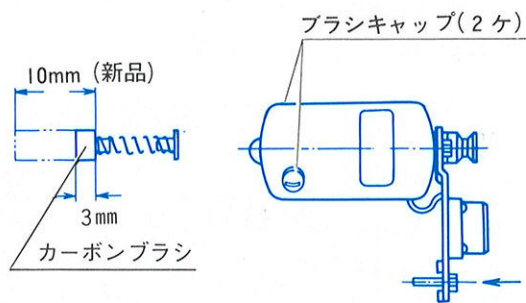
B) 交換の方法

最初にモーターを取り外します。次に〈モーター図〉のブラシキャップを各々取外し新しいブラシと交換してください。

〔注意〕

摩耗したブラシを、そのまま使っていると、モーターから火花が出たり、又モーター故障の原因になりますから、ご注意ください。

カーボンブラシ図



(第33図)

モーター取付ねじ

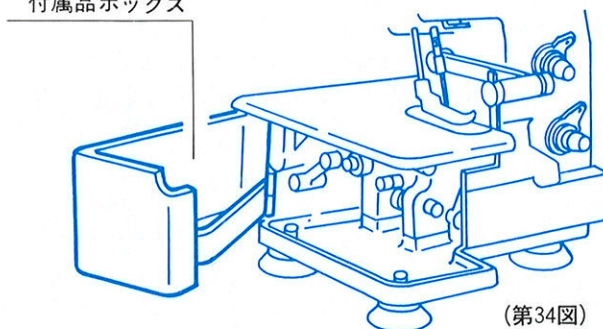
※カーボンブラシの購入先
ミシン店又は、電気器具店でお願いします

12 梱包明細

1. ミシン(モーター付)
2. ペダルセット一式
3. 頭部ビニールカバー
4. ご使用のてびき
5. 検査合格証
6. 保証書
7. アクセサリー・ボックス
 - ドライバー (一用) 1 コ
 - スパナ (モーターブラケット用) 1 コ
 - 針 BL×1 #11 3本 #14 2本 5本セット
 - 下メス 1 コ
 - ピンセット 1 コ
 - 掃除用ブラシ 1 コ
 - 油差し (30cc入り) 1 コ
 - ハート型ドライバー (送り目用) 1 コ
 - ベビーネット 1 セット
 - 木ゴマ受け 3 コ

第34図の下側面カバーのボックスにはお仕事の際に必要な付属品を入れてご使用ください。

付属品ボックス



(第34図)

13 EF-405型仕様表

基本項目	仕様
かがり巾	標準 3.5 m/m (2.5 ~ 5 m/m)
縫い目(送り目)	1 ~ 5 m/m
針棒ストローク	25 m/m
メス上下量	6.5 m/m
押え上り量	5 m/m
送り歯高さ	0.7 m/m (標準)
使用針	BL×1 #11 #14
使用糸本数	3本
給油方式	油芯装置付手差方式
ミシンの大きさ	タテ 250 m/m ヨコ 250 m/m 高さ 280 m/m
ミシンの重さ	8 kg (モーター付完成品)

14 布地と糸の関連表

	布 地 の 種 類	糸	針
木綿 麻	〔薄地〕 ボイル、ローン、ブロード、ギンガム、亜麻など	綿 #100 スパン #90	BL #11
	〔厚地〕 オックスフォード、デニム、キルディング、ギャバジンなど	綿 #80 スパン #80~60	BL #11 #14
絹	デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど	絹 #100 テトロン #80	BL #11
毛	〔薄地〕 トロピカル、ポーラ、ポプリンなど	スパン #80 綿 #80、テトロン #80 絹 #50	BL #11
	〔普通地〕 サージ、ギャバジン、フラノなど	スパン #80 テトロン #80~60 絹 #50	BL #11 #14
	〔厚地〕 ベロア、キャメル、アストラカンなど	スパン #60 綿 #60~50 テトロン #60~50 絹 #50	BL #14
化繊 混紡	〔薄地〕 ジョーゼット、ボイル、サテンなど	スパン #90~80 テトロン #80~60	BL #11
	〔厚地〕 タフタ、ツイル、ベネシャンなど	スパン #80~60 テトロン #60	BL #11 #14
ニット	トリコット（化繊、合繊）	スパン #90~80 テトロン #80~60	BL #11
	ジャージ（化繊、合繊）	スパン #80~60 テトロン #60	BL #11 #14
	毛糸	スパン #80~60 テトロン #60~50 ウーリーナイロン ウーリーテトロン アンダリア	BL #14

MEMO

